

福島イノベーション・コースト構想シンポジウム

参考資料

～世界が^{どうもく}注目する浜通りの再生を目指して～

「福島イノベーション・コースト構想シンポジウム」では、構想に関わる学術・研究機関や起業の代表者が各種事業の進捗状況や廃炉・ロボット、再生可能エネルギーなど新たな産業の集積に必要な仕組みについて発表した。

開催日時 平成29年3月18日（土）
10時30分～12時15分

会場 ホテル辰巳屋
主催 福島県、経済産業省、復興庁
後援 福島大学、

アカデミア・コンソーシアムふくしま、
福島県市長会、福島県町村会ほか

参加者数 約400名



プログラム

主催者あいさつ

福島県知事
原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）
復興副大臣

内堀 雅雄
高木 陽介
長沢 広明

基調講演

「福島イノベーション・コースト構想の更なる推進に向けて」
国立大学法人福島大学 副学長 小沢 喜仁 氏

講演

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 理事長
株式会社IHI 代表取締役副社長
コニカミノルタ株式会社 ヘルスケア事業本部 副本部長兼販売統括部長
井関農機株式会社 先端技術部担当執行役員
独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校 校長

児玉 敏雄 氏
石戸 利典 氏
長谷川 亨 氏
勝野 志郎 氏
中村 隆行 氏

関係者による決意表明

【開催概要】

主催者である内堀雅雄福島県知事、高木陽介内閣府原子力災害現地対策本部長、長沢広明復興副大臣による挨拶に続き、小沢喜仁福島大学副学長より「福島イノベーション・コースト構想のさらなる推進に向けて」をテーマとした基調講演が行われた。



福島大学 小沢喜仁副学長

基調講演に続いて、JAEAの児玉理事長、IHIの石戸副社長、コニカミノルタの長谷川副本部長、井関農機の勝野執行役員、福島高専の中村校長が講演した。



JAEA 児玉敏雄理事長



IHI 石戸利典副社長

その後、内堀福島県知事、高木原子力災害現地対策本部長、矢倉農林水産政務官、板倉文科審議官が登場し、福島イノベーション・コースト構想を通じて復興を進める決意をそれぞれ表明した後、登壇者を交えて記念撮影した。



登壇者による記念撮影

また、同会場では、福島イノベーション・コースト構想の各プロジェクトを紹介するパネル展示や企業の取組事例を紹介するブースが出展された。

